

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主催



撮影＝前島吉裕

※ 本公演の前に14時よりプレトークを行います

2018年2月3日[土] 14:00開演 (13:30開場)

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学 内]



春秋座 能

狂言 清水座頭

(休憩15分)

プレトーク
(30分予定)

片山 九郎右衛門 (観世流シテ方)
松岡 心平 (東京大学大学院教授、能楽研究)
渡邊 守章 (演出家、東京大学名誉教授)

シテ 座頭 野村万作

アト 髻女

野村萬斎
後見 中村修一

後シテ 三輪明神
前シテ 里女 観世鏡之丞

能 三輪

白式神神楽

ワキ 玄實僧都 森 常好

大鼓 亀井広忠
小鼓 大倉源次郎

太鼓 前川光範
笛 藤田六郎兵衛

アイ 里人 深田博治

後見 大江信行
青木道喜

地謡

観世淳夫 片山伸吾
鶴澤光 古橋正邦
梅田嘉宏 片山九郎右衛門
橋本忠樹 味方玄

狂言

企画・監修
渡邊守章



京都芸術劇場

能と狂言

2018年
2月3日[土]
14:00開演
(13:30開場)



森常好



片山九郎右衛門



観世鏡之丞



野村萬斎



人間国宝 野村万作



前川光範



亀井広忠



人間国宝 大倉源次郎



藤田六郎兵衛

企画・監修 渡邊守章(演出家)
照明デザイン 服部基
舞台監督 小坂部恵次
協力 鏡仙会、万作の会、空中庭園

『三輪』という能について

渡邊守章

文楽、歌舞伎は観ない。観るのは能だけ、という方を除けば、『三輪』というタイトルを聞けば、すぐ文楽あるいは歌舞伎の『妹背山婦女庭訓』のあの『苧環の糸に引かれて非業の最期を遂げる(お三輪)』のイメージを思い浮かべられることでしょう。『三輪山伝説』と呼んでおく『三輪山の神』にまつわる『神人婚説話』は、『古事記』以来、様々な『読み』を残してきました。夜な夜な訪れてくる謎めいた美青年の正体を探ろうと、糸を着物の裾に結びつけておくと、その糸は、朝になると、鍵穴を抜けて出て行っていったという、神人婚説話の見本のような話。全く関係はないと思われませんが、古代ギリシアで、『クレタ島の半人半牛の怪物ミノタウロス退治』にまつわるアリアドネーの話にも似た説話構造は、人形浄瑠璃、歌舞伎における『妹背山』のお三輪の悲劇に接近します。

ただ、『古事記』以降の、神話・伝承に現れる三輪の神は、(性差の定かではない謎めいた神格)を持ち、『三輪』と『伊勢』の神が同体であるという信仰に基づいていいますから、お三輪の悲劇とは次元の異なる「神話解釈学的な」構造をもっており、それだけに、「神に愛された女体」という物語レヴェルを超えて、「神自身が『三輪の苦』を受けている女体であり、かつ伊勢の大神、アマテラスと同体であった」という、説話というよりはわが国の中世特有の信仰を背景にもつこととなります。

こう書くと、ひどく複雑な物語だと思われるかもしれませんが、能の舞台で、先入観なしに舞台の転換に行けば、『三輪の神が女体であること』、しかも伊勢の大神と同体であるという(神話的秘蹟劇)が、圧倒的な魅惑をもって迫ってきます。

ただ、こうした作品構造は作品成立時からのものなのですが、今回の観世流だけにある小書き『白色神楽』は、京観世の片山家の創始になるもので、その構造をいっそう前面に押し出した演出であり、現在でも、この『小書き』で舞うときは、片山家の許可を得る必要があるほどに、重い『小書き』と見做されています。後シテの出現を、『岩屋戸神話』に繋げて、『アマテラスの岩屋戸からの再現』復活の宇宙的なドラマとして喚起するわけですから、演じるシテの三輪明神も文字通り『アマテラスへの変容』を、甦った光の中で現前させなければなりません。能だけが持ち続けてきた(芸能の根)にひそむ(神聖な力)が、春秋座の舞台に出現するのです。

この、ほとんどワグナー的と言ってもよい(神聖歌舞劇)に先立って演じられる狂言『清水座頭』は、人間国宝野村万作師の得意とされるややシリアスな作品で、盲目的座頭が、妻を授かりたいと清水寺に「お籠もり」をする、極めて庶民的かつ写実的な情景が舞台です。そこで出会った誓女と座頭が、「お籠もり」のあいだに、酒を酌み交わし、歌に興じ、やがて眠りにつくくと「霊夢」を授かり、最後はめでたく結ばれる……。狂言の語る、「救い」の庶民的な姿を、深く表している作品です。なお、いつも「春秋座」能と狂言」にご出演頂いている小鼓方の大倉源次郎師が、「人間国宝」に指定されました。大変喜ばしいことと、関係者一同のお喜びの気持ちを、ここに記させて戴きます。



空中庭園 LES JARDINS SUSPENDUS

□入場料(全席指定)

〈S席〉 一般 —— 7,000円 友の会 —— 6,000円

〈A席〉 一般 —— 6,000円 友の会 —— 5,000円

〈学生&ユース席〉 2,500円 ※ユースは25歳以下 / 学生・ユースは要証明書提示 / 未就学児のご入場はご遠慮ください。

□チケット発売日

友の会先行発売: 2017年10月31日(火)

一般発売: 2017年11月1日(水)

□チケット取扱い

●京都芸術劇場チケットセンター(窓口販売・電話予約)

Tel. 075-791-8240 (平日10:00~17:00)

●劇場オンラインチケットストア ※要会員登録(無料)

パソコンから <http://www.k-pac.org/>

携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

●チケットぴあ

<http://t.pia.jp> Tel.0570-02-9999 Pコード: 481-634

●イープラス

<http://eplus.jp>

●京都・滋賀各大学生協プレイガイド

□主催・お問合せ先

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

Tel.075-791-9437 <http://www.k-pac.org/>

※車椅子ご利用のお客様、足の不自由なお客様は、

お電話にてお申込み、お問い合わせください。

(Tel.075-791-8240: 京都芸術劇場チケットセンター)

※劇場2階席への移動は階段のみとなります。

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116



- JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から京都市バス5系統「岩倉」行きに乗り、「上終町京都造形芸術大前」下車(「京都」駅から約50分、「三条」・「河原町」駅から約30分)
 - 京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路駅バスターミナル)から京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗り、「上終町京都造形芸術大前」下車(約15分)
 - 京阪「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩約10分
 - タクシーご利用の場合、「京都」駅から約30分。地下鉄「今出川」駅から約15分(「京都」~「今出川」は地下鉄で約10分)。
- ※ 所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。
- ※ 駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

